

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和8年 4月 1日			
放課後等デイサービス・キララ							
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	利用人数によっては、室内で過ごすグループと戸外へ出かけるグループに分かれて活動している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			利用人数や障害特性に応じて支援できるように指導員を増員して対応する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		子どもに分かりやすい構造化を意識しているが、子どもの位置、指導員の位置によってトラブルになることがあり環境上の配慮の強化が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーティーを活用して安心できる場を作っている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	事前打ち合わせ会議をする	支援内容を深めるように日々話し合いを徹底する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	モニタリングの機会に聞かせてもらうようにしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事前打ち合わせや研修の機会に意見を聞く	回数を増やしていく必要を感じている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者評価は受けていない。今後検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間計画を立て実施 3事業所の職員が研修に参加し、意見交流する場を設けている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		紙ベースで配布		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々の打ち合わせで子どもの姿で気が付いたことを出し合い、計画に生かしている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全員参加は難しいので、回覧して反映されるようにしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		日々の打ち合わせ時に、支援の共有をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			アセスメントシートを工夫していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			支援計画に具体的な支援内容を設定しているが、全指導員が、ガイドラインを熟読する必要を感じている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		支援者で話し合い決定している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子ども特性に留意し工夫している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもの状況に合わせて計画している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		日々支援内容や分担について確認している 前日の反省を踏まえるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		支援の振り返りはしているが、非常勤職員の振り返りを当日に聞くことは難しいので、後日出勤した時に話すようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録は書いている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1回行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ 合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子ども自身が遊びたいものを選ぶようにわ かりやすく配置している 写真でリストも作り提示している	
関係機 関や保 護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		主に児童発達管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				関係機関との連携は持つようにはしているが、なか なか機能できていない 呼びかけがあった場合は参加できる体制を整える
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				必要に応じて連携していきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。				相談支援員さんを介して情報を伝えることは ある、直接はできていないので必要に応じて していきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		指導員が研修に参加できるように人員確保は している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。		6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		参加者による復命研修をしている	できるだけたくさんの指導員が参加できるよ うにしていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に話すことが多い	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。		6		職員のスキルを高める研修が必要であるので 実施できていない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	6		契約時に重要事項について説明を実施してい る	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングの機会に聞かせてもらうように している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	5	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		保護者の要望は少ない。懇談会の形式を考慮していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		今のところ苦情はない	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			発行機会を増やす方向で検討していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			マニュアルは作成している 研修は実施しているが、発生想定して訓練をもう少ししていきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			対象の子どもがいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案が発生した時には、要因・方策について話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			研修機会は設けているが、報告研修になることもある
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に説明し、個別支援計画に記載している		